

開催日時：2003年7月7日（月） 9：30～12：00

場 所：京都リサーチパーク 西地区4号館 Room1

参加者数：委員8名、河川管理者19名

## 1 決定事項

- ・ 7月12日（土）開催の委員会には、寺田委員がまとめた「河川瀬案整備計画中の『利水』に関するフレームワークとしての項目」をベースに、これまでの検討会の議論内容や出された素材等を部会長がまとめ、委員会で報告を行う。
- ・ 9月2日（火）の利水部会の開催までに、部会検討会を1～2回開催する。河川管理者には、各利水事業者のデータを、出来る範囲でご用意いただく。

## 2 審議の概要

### 委員会および他部会の状況報告

資料1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに、委員会及び他部会の活動状況等について報告が行われた。

### 説明資料（第2稿）の検討について

#### ）委員からの意見と意見交換

資料2-1-2「説明資料（第2稿）等の利水部会に関連する部分についての論点、意見等」をもとに、各委員より説明資料（第2稿）の利水の部分に関する意見について説明が行われ、意見交換が行われた。

### 主な話題

- ・ 利水の理念転換について（原案では利水の部分でも従来の考え方を抜本的に転換することを明確に示して欲しい／河川管理者が水需要管理を主導するという観点に立って事業を行っていくべき／説明資料に水需要管理の言葉が出てこないのは不満／説明資料のどこにどのように書くべきか検討する必要がある 等）
- ・ 河川管理者の権限と主体性の限界（水需要管理はいわばライフスタイルを包含するものであり、河川サイドとしては川との係わりで捉えるしか無い／河川管理者がすべての権限を持っていれば問題はないが、今のままでは何もできない。そこをどう打破するか 等）
- ・ 水需要の精査・確認（現在行っているプロセス、方法について説明願いたい／これまでの予測のチェックを行えば要因が浮き彫りになる、等）
- ・ 水需要の現状の把握（各水道事業者等の水利権量、取水量、水資源開発施設の負担等についてのデータについて等）
- ・ 水供給の実力／水需要管理協議会の組織体制／湯水調整について等

#### ）次回部会の内容、部会までの作業等について

次回委員会までの作業、今後の利水部会（検討会）のスケジュール等について話し合わせ、上記「1.決定事項」の通り、決定がなされた。

以上

このお知らせは委員の皆様にご覧いただき、会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。